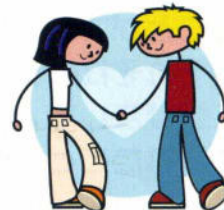


第28号 うつべ人権協ニュース

平成29年10月 発行

内部地区人権教育推進協議会



内部地区人権教育推進協議会は、「人が人として尊ばれ、住んでいてよかった 住んでみたいまち、うつべ」の実現をめざして、平成12年以来活動を続けています。

平成29年度においても、内部地区の皆様にも人権の大切さをご理解いただくために、内部地区、南部ブロックおよび四日市市で開催された人権に関する様々な事業の様子や今後の予定などを皆様にお伝えするために、年数回「うつべ人権協ニュース」を発行して各戸にお届けしますので、是非ご一読ください。

中学校区人権フォーラムが開催される

平成29年6月27日（火）内部中学校で、地区内の小学6年生と中学2年生365名が参加し、「人権フォーラム」が開催されました。これは、平成18年度から行われている人権プログラムの一つで、人権協の役員他、関係者も同席しました。身近な人権について話し合い、お互いの交流を図ることを目的としています。

小・中学生を45グループに分けて、各班が円座になって中学生の司会で、昨年と同じ課題の「権利の熱気球」について話し合いました。

課題に取り組む前に司会者から、「自分と違う意見を聞くことで、周りの人がどんな想いを持っているのか、しっかりと受け止めるということを大切にしてください。」と伝えられ、フォーラムがスタートしました。

まずは、各グループで、話をせず、ジェスチャーや身振りを使ってのバースデーチェーン作りで気持ちをほぐし、自己紹介をして主活動に入りました。

「権利の熱気球」は、10個の権利を持って熱気球に乗っているのですが、高度がどんどん下がっていき、助かるためには、必要ないと思った権利を捨てていかなければならないという設定でした。どの権利を捨てるかをグループで話し合っていて決めていき、これ以上は捨てられないのはどこまでかを考える活動をしました。「遊べる（休養できる）権利」「みんなと異なっていることを認められる権利」「正直な意見を言い、それを聞いてもらう権利」等の10個の権利の中から一つずつ権利を捨てていく瞬間に葛藤があり、なぜその権利を捨てるのか真剣に考えて意見を発表していました。一人ひとりの理由をしっかりと受け止めた後、グループとして一つの意見にまとめることが難しくもあり、一番活発に話し合いが行われる場面でもありました。中学生がリーダーとなり、話し合いを上手く進めていました。



参加した小・中学生からは、「人と同じことを思うのは難しいので、一人ひとりの意見を尊重することが大切だと思いました。」「当たり前だけど、その当たり前が当たり前でない人も、この世の中にはいる。そんな人たちも含め、権利を大切にしていきたい。」「中学生が話しかけてくれたので、みんなとお話や、コミュニケーションもとれて良かったです。」等の感想が寄せられました。

《次頁につづく》

フォーラムの締め括りでは、今回の学習を通して、①自分の意見・考えを主張することができたこと、②人それぞれで、色々な考えがあると気づけたこと、③それぞれの考え（多様な価値観）を認め合えたこと、の3つの価値について学びました。そして何よりも、学校・学年を越えて話し合えたこと、絆を深められたことも成果であったとの話がありました。



第39回 四日市人権・同和教育研究大会の開催

平成29年8月20日（日）、大会テーマ「みんなでつくろう 差別のないまち」～つながろうわたしから広げよう人権の輪～のもと、四日市市文化会館および中部地区市民センターを会場に行われました。

全体会では、樋口四同研会長（内部小学校校長）の挨拶の後、基調提案が発表されました。ここでは、社会の中には、障がい者、外国人、子ども、女性など様々な人権にかかわる問題があり、人権問題の解決に向けて求められるのは、自分が差別する人間にならないだけでなく、日常生活の中で差別をなくす主体者になっているかを自分に問いかけながら実践を積み重ねていく必要がある。人権・同和教育を社会全体で幅広く展開し、地域に根差した人権文化を作り上げ、すべての人が安心・安全に暮らせる「差別のないまち 四日市」の実現につなげていきたいと思いますと提案され、全会一致で承認されました。



そのあと、記念講演では、（社福）青丘社 川崎市ふれあい館職員崔江以子（ちえ かんいぢゃ）さんを迎え、「誰もが力いっぱい生きられるために」～地域からヘイトスピーチと闘う～と題して、ヘイトスピーチによる被害の深刻さと根絶への取り組みを通し、子どもたちを人権被害から守るために、差別を批判する仲間になってほしいと力強く話されました。互いの違いを豊かさとして尊重し合い、共に生きる社会を目指し、自ら取るべき行動を考える大切さを学びました。

分科会では、同推（人権）協活動として、内部地区人権協木田富喜二会長より、「住んでよかった、住んでみたい町をめざして」と題して、これまで取り組んできた啓発研修や地区懇談会など紹介があり、フロアからも積極的に質問が出され、学び合う場となりました。木田氏からは、人権協の組織づくりとリーダー育成について課題の投げかけがあり、全市的にも委員の世代交代について苦慮されている状況の中、工夫されている意見が交換されました。

お知らせ・・・次の日程で人権地区懇談会を開催します。

町名	開催日時	開催場所
森力山町	10月21日（土）13:00～	森力山町集会所
波木町第2、第3	11月11日（土）19:00～	波木町第2自治会集会所
東原町	11月18日（土）19:00～	東原町集会所
泉町	11月22日（水）19:00～	泉町公会所
北小松町	12月9日（土）19:00～	北小松町第2公会所
采女町、中南部	2月17日（土）18:00～	采女町公会所



編集後記

平成29年度人権協ニュースをお届けします。お気づきの点やご意見がありましたら、「内部地区団体事務局・人権教育推進協議会（☎347-1224）」まで、お知らせください。